



第3回北方領土隣接地域における 地域一体となった啓発促進策の 検討に関する有識者会議

日時 2025年7月13日（日） 14:45

場所 中標津経済センター

「千島連盟における後継者育成の取り組み」

千島連盟羅臼支部 後継者の会 事務局長 本 見 泰 敬（国後島2世）



【後継者の組織】

- ・ 全国15支部に後継者組織がある
(根室・別海・中標津・標津・羅臼・浜中・厚岸・釧路・十勝・オホーツク・道北・道央・函館・関東・富山)
- ・ 根室管内後継者連絡協議会
- ・ 千島連盟本部の組織として「後継者活動委員会」、「後継者活動推進員の配置」

【後継者の現状】 (令和7年3月31日現在)

千島連盟会員数

・ 2世	1, 480人	⇒
・ 3世	257人	⇒
・ 4世	7人	⇒
計	1, 744人	

後継者の状況

16, 325人 (61.6歳)
12, 758人 (39.1歳)
315人 (22.3歳)
29, 398人

出典

1) 千島連盟ホームページ

2) 北対協「北方領土元居住者の状況」



【後継者事業】

1. 北方領土問題現地青年の集い（5月） 59名
2. 北方領土青少年洋上セミナー（6月） 72名（内後継者スタッフ26名）
3. 後継者研修会（9月） 20名
4. 後継者キャラバン隊派遣事業（11月） 14名
5. 後継者活動促進全国セミナー（11月） 41名（一般参加者11名）
6. 後継者派遣研修
 - ・ 交流船えとぴりか一般公開（6月から10月） 11名
 - ・ 北方領土返還中央アピール行進（12月） 10名程度
 - ・ 北方領土の日全国大会・根室管内住民大会（2月） 10名程度
7. 後継者語り部スキルアップ研修（1月） 15名程度
8. 後継者街頭啓発（3月） 15名程度

その他

- ・ 後継者語り部の派遣（全国）・後継者語り部地域講習会
- ・ 各支部ごとの啓発活動（署名活動や北方領土クイズ大会など）



【後継者育成の課題・取り組み】

■3世・4世の会員加入

- ・ 活動への理解が得られにくい
- ・ 興味がない



- ・ **個別勧誘**
- ・ **同年代からの声掛け**

■若い世代の事業参加

- ・ 休日は自分や家族との時間を優先
- ・ 現役世代であり仕事が優先
- ・ 参加者の固定化、高齢化



- ・ **参加しやすい日程での事業計画**
- ・ **お試し参加(きっかけ作り)**
- ・ **主体的に取り組める事業プログラム**

■後継者語り部の育成

- ・ 元島民の語り部が減少
- ・ 後継者語り部のなり手不足



- ・ **ミニ語り部(トライアル)**
- ・ **研修会の実施**
- ・ **語り部事業の見学**



【新たな取り組みとして】

■若い世代へのきっかけ作り

- ・お笑いコンビ アップダウンによる「北方領土漫才～ふるさと～」の制作・公演
北海道出身の竹森巧と阿部浩貴によるお笑いコンビが、二人芝居や音楽劇、漫才で日本の歴史を伝える新たなエンターテインメントを制作・公演
2021年 被爆2世の依頼で原爆体験を伝承する漫才を制作・発表
2025年 千島連盟から依頼し北方領土を題材とした漫才が完成子どもから大人まで北方領土を分かりやすく楽しく伝える新しい形の啓発に取り組んでいる。

■自分事として主体的に取り組む

- ・国会議員への要請活動
後継者（若い世代）による衆・参議員会館での要請活動で元島民の思いや後継者としての思いを自らが直接伝える活動に取り組んでいる。

■元島民の思いや事実を伝える新たなチャレンジ

- ・「朗読劇」へのチャレンジ
語り部に変わる新たな手法として元島民が語る歴史の証言を「朗読劇」で伝える